

下水道事業会計決算

**1億2946万円の
単年度損失**

平成21年度の収入は11億7823万円、支出は13億769万円、差し引き1億2946万円の損失となりました。

これは、下水道事業が建設途中で、普及率は伸びているものの処理区域内の水洗化率は依然低調に推移しているため、使用料収入が伸び悩んでいることが要因です。

市内には、まだまだ下水道が整備されていない地区があり、これからも多額の事業費が必要となります。そのため、今後とも経営の安定と健全化に努めていきます。

水洗化にご協力ください

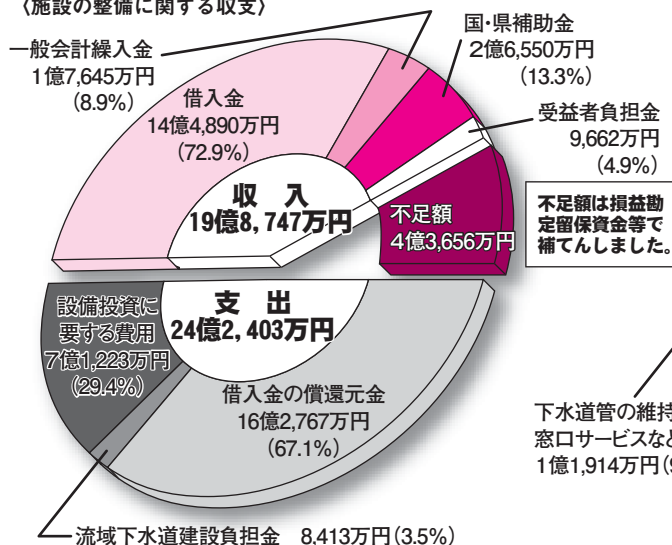
下水道施設の建設や維持管理の費用の一部は、下水道使用料や受益者負担金などで賄われています。

下水道を整備すると、トイレの水洗化が進み、また家庭などからの汚水は処理場で浄化し放流するため、川や海などがきれいになります。

環境を守り、快適な暮らしを実現するために、地域ぐるみで水洗化を進めましょう。

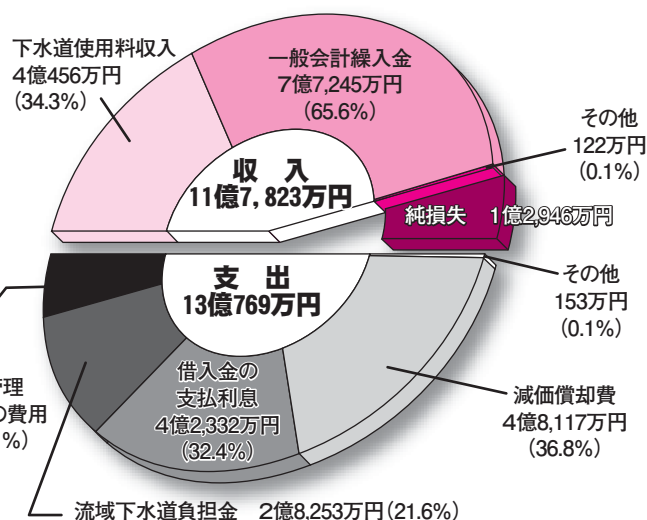
資本的収支(消費税込み)

〈施設の整備に関する収支〉



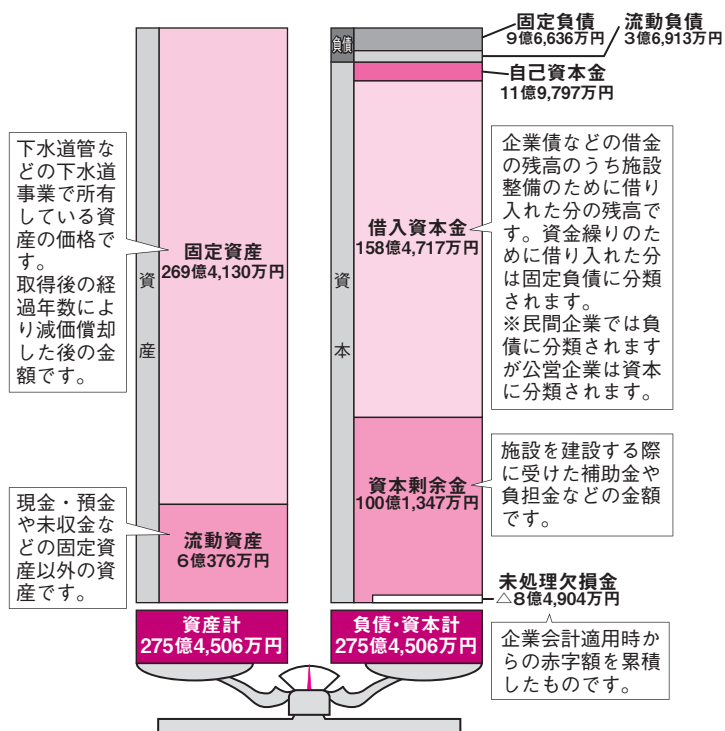
収益的収支(消費税抜き)

〈事業の運営に関する収支〉



平成21年度 大館市下水道事業貸借対照表

(平成22年3月31日現在)



平成21年度に整備した地区

大館地域 御成町、有浦、中道、餅田などの一部
比内地域 味噌内の一部
田代地域 赤川の一部

新たに下水道が使えるようになった面積………33ha

処理状況

行政区域内人口	80,796人
処理区域内人口	33,723人
普及率	41.7%
水洗化人口	25,558人
水洗化率	75.8%
年間処理水量	2,526,364m ³
年間有収水量	2,398,269m ³
有収率	94.9%